

新型コロナウイルス×インフルエンザ ツインデミックを乗り越えるために

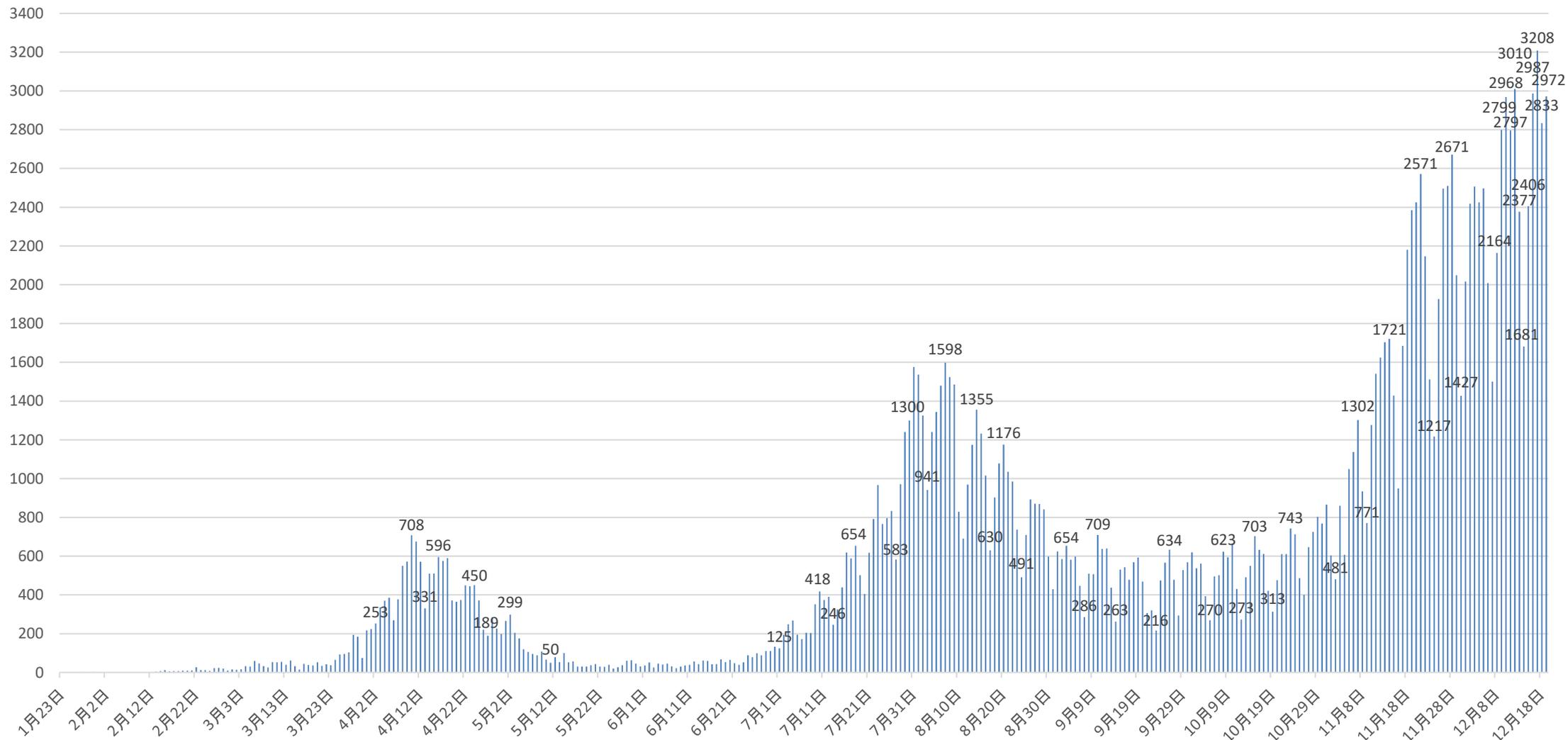
文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課長 平山直子

2020.12 Version

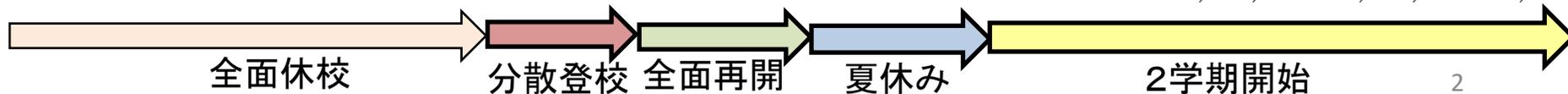
新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

報告日別新規陽性者数

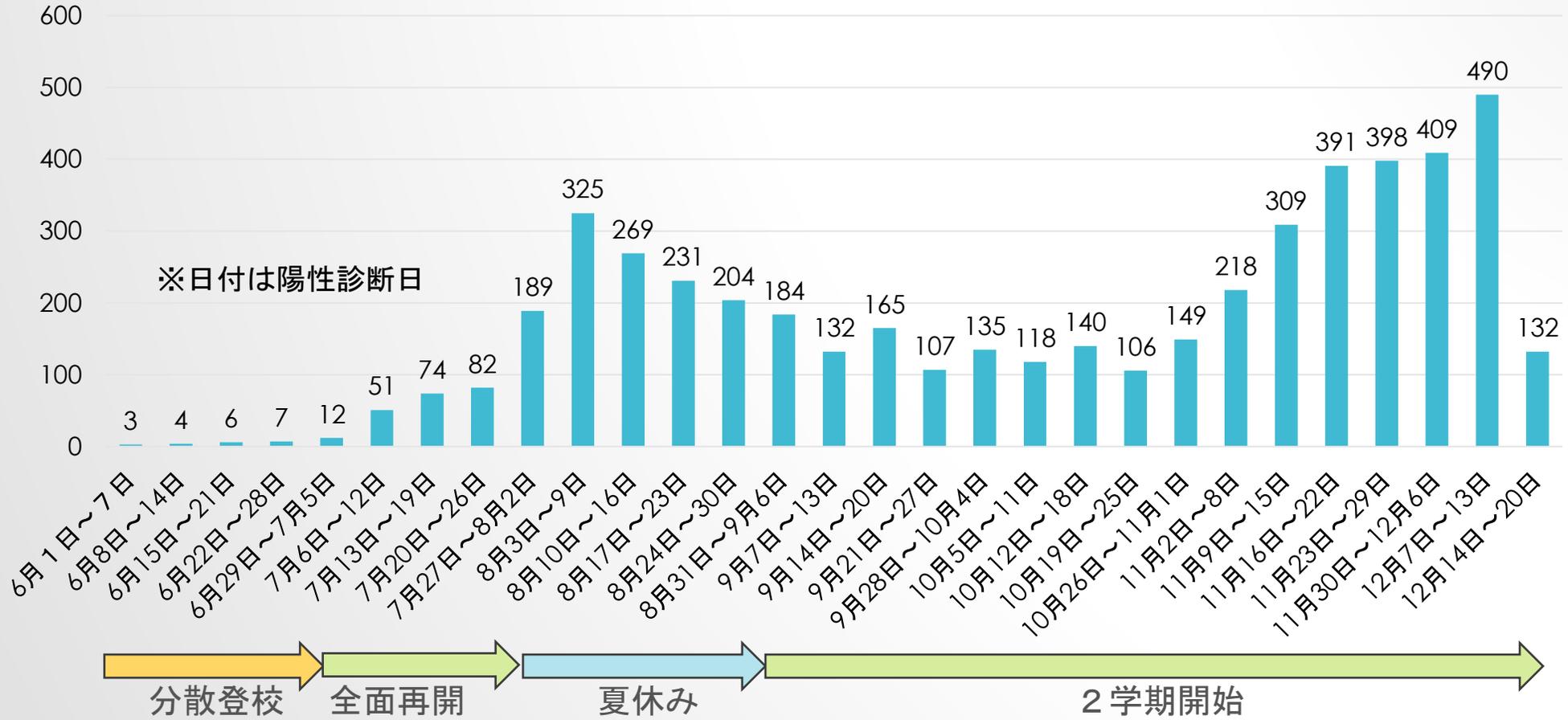
令和2年12月19日24時時点



学校の状況

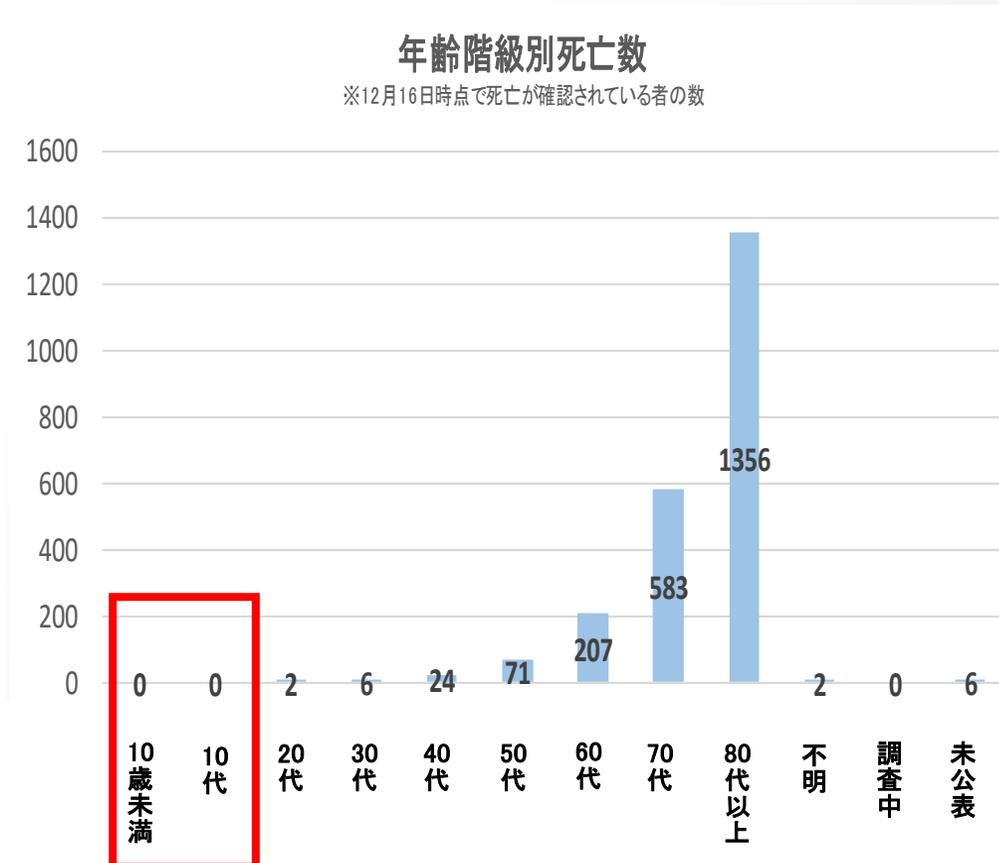
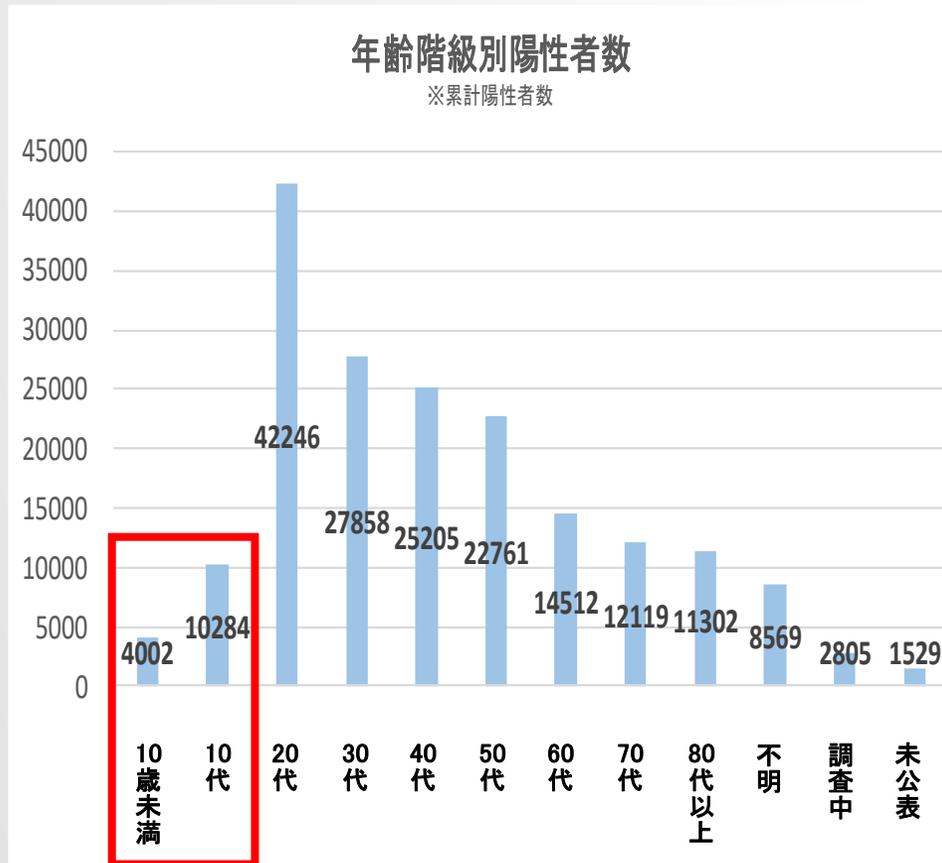


児童生徒等感染者の推移（6/1～12/18に文部科学省に報告があった件数）



新型コロナウイルス感染症の国内発生動向 (令和2年12月16日時点)

10歳未満・10代は、**陽性者数・死亡数が少なく、重症者割合・死亡率も低い**

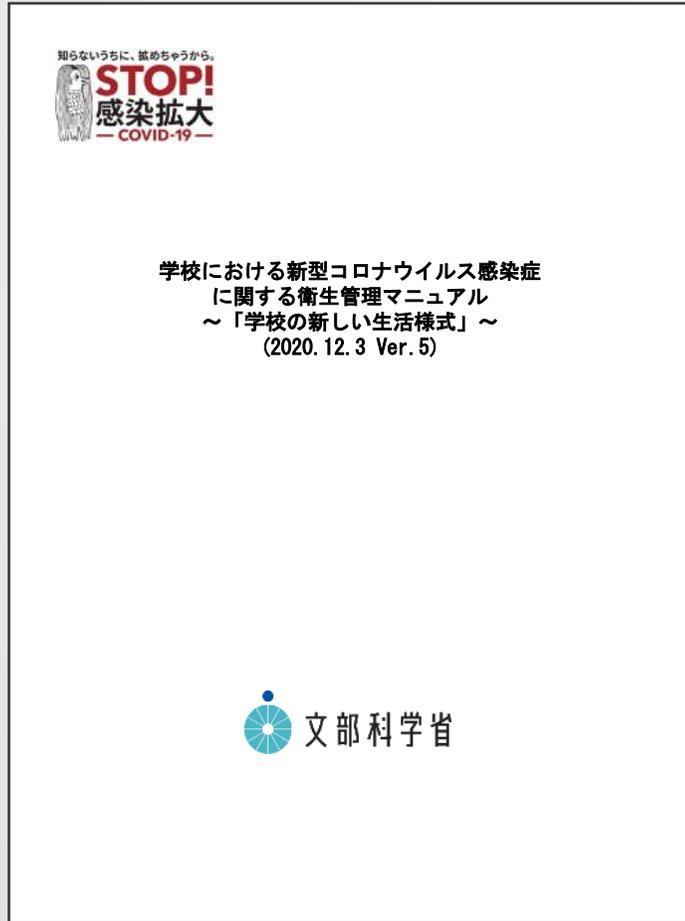


【重症者割合】 ※年齢階級別にみた重症者数の入院治療等を要する陽性者数に対する割合

全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1.3	0.5	0.0	0.1	0.0	0.6	1.1	3.1	4.4	2.1

【死亡率】 ※年齢階級別にみた死亡者数の陽性者数に対する割合

全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	1.4	4.8	12.0



衛生管理マニュアル（12月3日Ver.5）のポイント

1. 学校における感染事例の分析
2. 感染拡大地域における学校教育継続の考え方
3. 清掃・消毒の考え方（8月6日改訂時より引き続き）
4. 冬季の対策
5. 感染者が発生した場合の臨時休業の判断
6. マスク、フェイスシールド・マウスシールド

1. 学校における感染事例の分析

学校における感染者数

	小学校	中学校	高等学校
児童生徒	1,252人	782人	1,224人
教職員	169人	121人	145人

児童生徒の感染経路

家庭内感染	学校内感染	その他	感染経路不明
55%	13%	10%	21%

※小学校・中学校における学校内感染の割合は**7.4%**

学校で5名以上の感染者が発生したケース

小学校	中学校	高等学校
12校	11校	36校

※上記のデータは、学校が再開された6月1日以降、文部科学省に報告されたデータを基に集計したもの。11月25日現在のデータ。

- 「家庭内感染」が最も多い感染経路。全体で55%、小学校では73%。
- 中学校・高等学校では、部活動を通じて感染が広がるケースもある。
- クラスターの発生率は、高等学校が最も高い。自主的な活動が増える年代であることから、感染対策について生徒自らが留意するよう指導することが重要。
- 学校で複数の感染者が発生した事例においても、学校内で感染は収束しており、地域の感染拡大の原因となっていない。
- 各学校における感染防止のための日々の工夫や努力によるところが大きい。

2. 感染拡大地域における学校教育継続

- 学校においては、地域の感染状況を踏まえ、学習内容等を工夫しながら可能な限り、授業や行事等の教育活動を継続し、子供たちの健やかな学びを保障することが必要。

地域で感染状況が悪化した場合でも・・・

- 特に小学校・中学校では、地域の一斉臨時休業は避けるべき。
(地域の社会経済活動全体を停止するような場合にとるべきであり、学校のみを休業とすることは、学びの保障や心身の影響の観点から避ける)
- 中学生・高校生については、感染拡大状況に応じ、マスクを着用しないで行う感染リスクの高い活動を一時的に制限するなどの柔軟な対応を検討。

3. 「清掃・消毒」の考え方①



- 机やいすの消毒は、特別に行う必要はない。
- トイレや手洗い場も同様。
- 日々の清掃の中で家庭用洗剤等を用いてできる範囲で可
- 児童生徒に行わせても可
- これを機会に、日々の清掃を見直し、施設内の衛生環境を良好に保ってほしい。

(衛生管理マニュアルより)

3. 「清掃・消毒」の考え方②



子供たちも
自分で机を消毒



4. 冬季の対策

- ▶ 冬季は、空気が乾燥し、飛沫が飛びやすくなることや、季節性インフルエンザが流行する時期でもあることから、感染症対策を一層心がけ、手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底し、寒い環境でもしっかり換気すること
- ▶ 空気が乾燥しているときの加湿は、無理のない範囲で取り組む
- ▶ 今年の11月のインフルエンザの感染報告は、昨年と同時期に比べ、約0.2%にとどまっている
インフルエンザ感染報告：139（2020年11月）⇔56,974（2019年11月）

冬季の換気のポイント

- 気候上可能な限り、常時換気に努める（窓を開ける幅は10cm～20cmを目安。上の小窓・廊下側欄間を全開にするなどの工夫も。）
- 常時換気が難しい場合、30分に1回以上、少なくとも休み時間ごとに窓を全開。
- 室温低下による健康被害防止のため、児童生徒等に暖かい服装を心がけるよう指導。
- 空き教室等の部屋の窓を開け、廊下を經由して、少し暖まった新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れる二段階換気も、気温変化を抑えるのに有効。
- 十分な換気ができているか心配な場合、学校薬剤師と連携し、換気の指標としてCO2モニターにより二酸化炭素濃度を計測することが可能。
（学校環境衛生基準では、1,500ppmが基準）
- 昼食時には換気を強化するなど、教室内の子供の活動内容に応じた換気をする。

地域の気候に応じた換気方法がある場合も。
必要に応じて学校薬剤師に換気方法を相談する。



CO2モニター

5. 感染者が発生した場合の臨時休業の判断

学校は、児童生徒や教職員が感染した旨の連絡を受けたら、

- ・設置者に連絡し、感染者の学校内での活動状況を伝える
- ・感染者が児童生徒⇒出席停止
- ・感染者が教職員⇒出勤させない扱い

設置者は、**臨時休業の実施の必要性を含め、保健所に相談。**

保健所は、必要な情報を収集し、濃厚接触者の特定等を実施。学校や設置者は調査に協力。

設置者は、保健所の見解や学校医の助言等を踏まえ、学校の全部又は一部の臨時休業の要否検討。

右以外の場合

・**学校教育活動を継続**

※状況に応じ、**感染リスクの高い活動の見直し等**

- ・濃厚接触者がいる場合には、児童生徒⇒出席停止
教職員⇒出勤させない扱い

学校内で感染が広がっている可能性が高い場合

学校保健安全法第20条に基づき、**学校の全部又は一部の臨時休業**

・家庭内感染ではない感染者が複数発生
・感染者が不特定多数との間で、マスク着用なしで近距離での接触あり

6. マスク、フェイスシールド・マウスシールド

マスク

- **身体的距離が十分取れない場合は、マスクを着用**すべき。

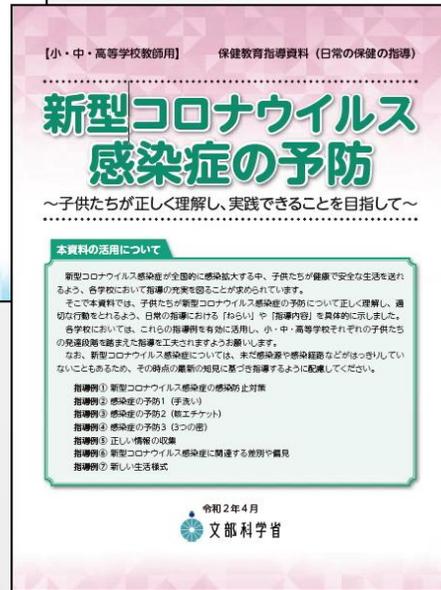
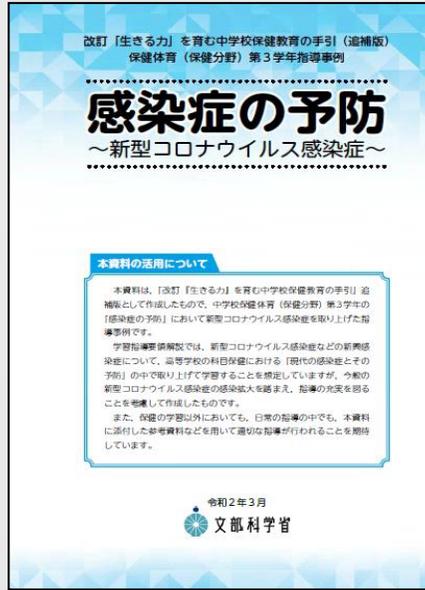
マスクを着用しなくていい場合は・・・

- ✓ 体育の授業（ただし、十分な身体的距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなる等のリスクがない場合はマスク着用）
- ✓ 十分な身体的距離が確保できる時
- ✓ 熱中症のリスクが高い時
- ✓ 幼児は、持続的なマスクの着用が難しい場合など無理して着用させる必要はない。

フェイスシールド・マウスシールド

- フェイスシールドやマウスシールドは、**マスクに比べて効果が弱い**ことに留意。
- フェイスシールド・マウスシールドのみで学校内で過ごす場合には、**身体的距離をとる**こと。
- 顔の表情を見せたり、発音の口の動きを見せることが必要な場合、フェイスシールド・マウスシールドを活用することも一つの方策だが、この場合も**身体的距離をとる**こと。

新型コロナウイルス感染症に関する 学校での指導



- 新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子供たちが健康で安全な生活を送れるよう、各学校において指導の充実を図るための指導資料を作成

新型コロナウイルス感染症に関する 差別・偏見の防止に向けて

12月3日時点（開始1か月半後）
到達児童生徒数：約190万人
申込教員数：約6,700人



文部科学省

児童生徒等や学生の皆さんへ

新型コロナウイルスが広がってからは、皆さんは、学校では友達のよう、この世では兄弟のよう、不安な気持ちで過ごしていかざるを得ない状況に陥っています。早くから不安な気持ちを抱えている皆さん、まずは、気持ちを落ち着かせることが大切です。まずは、気持ちを落ち着かせることが大切です。

まず、偏見に今からいかに正しく、いかに正しく対応する必要があります。すでに皆さんが取り組んでいるように、話すときにはマスクをしたり、手を洗ったり、具合が悪い場合は学校を休む人が出てくることです。そして、偏見や差別をなくするために、皆さんが取り組む必要があります。そして、皆さんが取り組む必要があります。

このように、偏見が広がっています。ですから、今、皆さんの思いがけず、感染源や感染経路などがあつたとしても、偏見が広がっているのは、皆さんが取り組む必要があります。そして、皆さんが取り組む必要があります。

新型コロナウイルスには偏見や差別が感染する可能性があります。偏見や差別が広がると、皆さんが健康で安全な生活を送ることが難しくなります。そして、皆さんが取り組む必要があります。そして、皆さんが取り組む必要があります。

偏見や差別が広がるのは、皆さんが取り組む必要があります。そして、皆さんが取り組む必要があります。そして、皆さんが取り組む必要があります。

皆さんが取り組む必要があります。そして、皆さんが取り組む必要があります。そして、皆さんが取り組む必要があります。

令和2年8月
文部科学大臣 萩生田 光一

- 文部科学省
- ### 参考資料
- #### 新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏見などでつらい思いをしたら
- 児童生徒等の皆さんの不安や悩みを受け止める相談窓口は、下記の通りです。一人で苦しまず、ぜひ利用してみてください。
- 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310
https://www.meit.go.jp/a_menu/shofou/saisoshidou/130698.htm
 - 子どもの人権110番≪法務省≫ 0120-007-110
<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>
 - 都道府県警察の少年相談窓口
<https://www.npa.go.jp/bureau/safety/yife/syonen/soudan.html>
 - いのちの電話の相談 0120-783-556
一般社団法人 日本いのちの電話連盟
<https://www.inochinodewa.org/>
 - チャイルドライン（18歳までの子供が対象） 0120-99-7777
<https://chidline.or.jp/>
 - 新型コロナの健康相談電話 050-3628-5672
一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人日本公認心理師協会
<http://www.jsccp.jp/info/infonews/detail/?no=730>

新型コロナウイルス“差別・偏見をなくそう”プロジェクト

ポスター (中高生向け)



ポスター (小学生向け)

啓発動画



今、キミの周りでは
どんなことが起きているかな？

指導例

指導例

対象: 小学校 高学年 道徳科 内容目標: 「公正、公平、社会正義」

1. 主題を差別や偏見に絞る。
2. 幅広い題材に対しては差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で話し、正義の実現に努めようとする態度を育てる。
3. 本時の展開

展開	主な学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入	1. 新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について知っていることを学習シートに記入することやワークシートに記入すること。 2. 考えを共有する。 3. 学習課題(あ)を課題とする。	○新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について、実際に起きていることを取り上げよう。 ○差別や偏見は悪いことだ、嫌な言葉があることなど気づかせる。 ○新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見をなくすために、自分が取り巻くことを考えよう。
展開	4. 動画を観る。 5. 3つの「感染症」の繰り返しを断ち切るためにできることを話し、共有する。 6. 意見交換をする。 7. 動画を観る。 8. 授業を振り返り、実生活につなぐ。	○動画を観ながら、差別はつらいこと、それがくり返されてしまうことなどを考えさせる。 ○3つの「感染症」の繰り返しを断ち切るために、家や学校で、自分が取り組むことを見つけてもらう。 ○3つの「感染症」の繰り返しを断ち切るために、家や学校で、自分が取り組むことを見つけてもらう。 ○3つの「感染症」の繰り返しを断ち切るために、家や学校で、自分が取り組むことを見つけてもらう。 ○3つの「感染症」の繰り返しを断ち切るために、家や学校で、自分が取り組むことを見つけてもらう。
まとめ	9. 学習シートに記入することやワークシートに記入すること。 10. 考えを共有する。 11. 学習課題(あ)を課題とする。	○学習シートやワークシートに記入することやワークシートに記入すること。 ○考えを共有する。 ○学習課題(あ)を課題とする。

①小学5,6年生向け

②中高生向け

ワークシート

いま、キミにできること -差別・偏見をなくすために-

年 組 名 姓 名 _____ 年 月 日 _____

いま、キミにできること

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症について、知っていることを書いてみよう

(1) 新型コロナウイルス感染症について、知っていることを書いてみよう

2 かんがえてみよう

3つの「感染症」の繰り返しを断ち切るためには、どうしたらよいだろうか。

3 生かそう

いま、自分ができることを書いてみよう。

いま、大切に思っていること、大切に相談したいことはありますか？(自分自身は除く)

①小学5,6年生向け

②中高生向け

相談窓口

新型コロナウイルス感染症を理由とした差別・偏見でつらい思いをしていたら、

まとめ

ウイルスの感染をひろげないためにできること

外にあるものをさわったとき



スライド

保護者の皆様へ

感染から生まれる差別・偏見を
どうなくしていくかを考える授業をおこないました

3つの「感染症」とは？

1 「高熱」そのものの感染症
2 「呼吸器」を介した感染症
3 「接触」を介した感染症

自分の健康を守るためにできること

1 ウイルスの感染をひろげないために
2 差別・偏見をなくすために
3 差別・偏見をなくすために

保護者の皆様へ

感染から生まれる差別・偏見を
どうなくしていくかを考える授業をおこないました

3つの「感染症」とは？

1 「高熱」そのものの感染症
2 「呼吸器」を介した感染症
3 「接触」を介した感染症

自分の健康を守るためにできること

1 ウイルスの感染をひろげないために
2 差別・偏見をなくすために
3 差別・偏見をなくすために

保護者向け お手紙